

PRESS RELEASE
報道関係者各位**ジャックスとRENOSY Xが業務提携、投資用住宅ローン手続きのDXを加速
「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY」を基盤に住宅ローン手続きシステムを開発**

～ 金融機関のDXにより、不動産業界のデジタル化も推進～

不動産取引の新しいかたちを創造する株式会社RENOSY X [リノシー クロス]（本社：東京都港区、代表取締役：清水 雅史、以下「当社」）は、株式会社ジャックス（本部：東京都渋谷区、代表取締役社長：山崎 徹、以下「ジャックス」）と業務提携し、不動産投資用住宅ローン手続きシステム

「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY（モーゲージゲートウェイ バイ リノシー）」を基盤に、保証業務に特化した住宅ローン手続きシステムを開発しました。



今回の業務提携により、住宅ローン保証事業を展開するジャックスでは、多くのツールに分散していた情報を集約し、ローン審査に必要な物件情報や個人情報の管理と、情報入力業務の負荷軽減を実現します。今後当社は、「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY」を通じて、ジャックスの不動産投資用住宅ローン保証業務における業務効率化と生産性向上を支援し、不動産投資用住宅ローンに係る金融機関の業務（申し込みや審査）のDX（デジタルトランスフォーメーション）を加速させることで、不動産業界のデジタル化を推進してまいります。

◆ 本件のポイント

- ジャックスへ「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY」を基盤に開発したシステムの導入が決定
- プラットフォーム上で提携金融機関先と繋がることにより情報のやり取りをスムーズに
- 金融機関のDXにより、不動産業界のデジタル化も推進

ジャックスへ「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY」を基盤に開発したシステムの導入が決定

当社は、住宅ローン保証業務のDX推進に伴い、複数の金融機関へ投資ローン保証を行うジャックスに対して、申込情報の電子化を可能にするシステムを開発し、導入いたしました。ジャックスでは、情報が複数のツールに分散していたため、使い勝手が悪く、また業務品質向上の均一化という課題がありました。「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY」を基盤に開発したシステムの導入により、全ての情報を一元管理し、システム上での共有を可能にしました。これにより、複数の書類に共通する情報を何度も入力する手間と時間が削減され、業務の効率化に繋がります。さらに、プラットフォーム上で提携金融機関先と繋がることにより情報のやり取りをスムーズに、効果的な情報共有を実現させます。

通常、システムを導入することにより、既存の業務フローに変更が生じ、開発から導入、稼働までの工数がかかっていました。しかし、ジャックスの保証業務に特化した住宅ローン手続きシステムを開発したことで、入力データをもとに従来と同様の帳票を出力することが可能となっています。これにより、既存の業務フローを大きく変更することなく、短期間でのシステム稼働を実現しました。

◆株式会社RENOSY X 代表取締役 清水雅史コメント

我々RENOSY Xは「不動産取引の新しいかたちを創造する」をミッションに、不動産取引に関わるクライアント企業の様々な業務のDX化を推進しており、そのひとつに、住宅ローン申請手続きのデジタル化があります。投資用不動産を購入する方の多くが住宅ローンを申請しますが、そのローン業務に関わる不動産会社と金融機関の双方がデジタル化に対応することが肝要です。そこで当社は、

「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY」というSaaS型のサービスを提供することにより、この業務のデジタル化を推進してまいりました。この度、開発・導入した「住宅ローン手続きシステム」によって、ジャックス様とお取引のある多くの不動産業者と金融機関を繋ぐことが可能になり、業界全体の業務効率化に大きく寄与できるものと考えております。

今後も不動産業界とその隣接業界のDX推進を加速させ、「不動産取引の新しいかたちを創造する」というミッションの実現に向けて進んでまいります。

◆ MORTGAGE GATEWAY by RENOSY（モーゲージゲートウェイバイリノシー）概要

不動産会社・顧客・金融機関を繋ぎ、不動産取引に関するローン申し込みから金銭消費貸借契約までをWEBで完結させるSaaS型プラットフォームです。従来、住宅ローン申し込み手続きは、紙でのやりとりが中心であり、重複する情報を何度も手書きで記入する手間、住宅ローン申し込み対象者以外が書類へ記入する書類の改竄、書類作成の際の出張、ローン手続きフローの不可視などの業界課題が存在していました。

しかし、様々な不動産会社、金融機関に導入が可能な「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY」では、ローン審査に必要な情報を、関係者間で共有し、オンライン上での「ローン申し込み」、「進捗確認」、「顧客と金融機関のやりとり」を行うことができるため、書類の記入漏れや改竄を防ぎ、信頼性と透明性の高い審査を可能にします。また、デジタル化によるペーパーレスを実現し、書類不備などで生じるやりとりを少なくすることで、作業にかかる手間を最大75%削減（※1）させます。

（※1）本システム導入銀行の例

◆株式会社ジャックス 会社概要

社名：株式会社ジャックス

代表者：代表取締役社長 山崎 徹

URL：<https://www.jaccs.co.jp/>

本社：東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート

設立：1954年6月

資本金：161億3,818万円

事業内容：クレジット事業、カード・ペイメント事業、ファイナンス事業、海外事業

◆ RENOSY X 会社概要

社名：株式会社RENOSY X（株式会社リノシー クロス）

代表者：代表取締役 清水 雅史

URL：<https://renosy-x.co.jp/>

本社：東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー42F

設立：2019年11月

資本金：5,000万円（2020年11月末日時点）

事業内容：

- ・不動産取引業におけるIT活用コンサルティング
 - ・テクノロジーを活用した不動産仲介の営業支援システムの開発、運営
 - ・住宅ローン申し込みプラットフォームサービス
- 「MORTGAGE GATEWAY by RENOSY（モーゲージゲートウェイバイリノシー）」の運営

本リリースに関する問い合わせ先

株式会社RENOSY X（広報担当：早田・近藤） TEL：090-1503-9158 MAIL：pr@renosy-x.co.jp